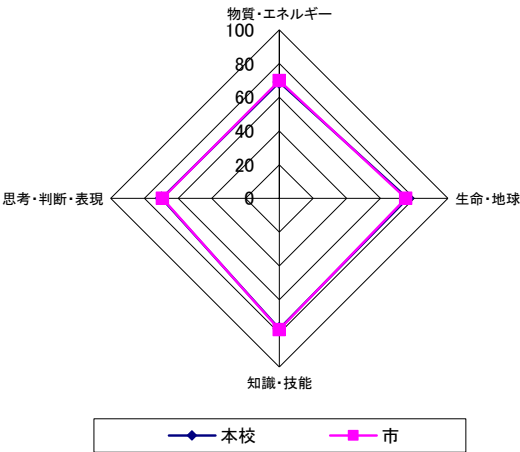


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	69.0	69.9	67.8
	生命・地球	76.1	75.1	73.7
観点別	知識・技能	77.4	77.8	78.4
	思考・判断・表現	69.8	69.4	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は市平均を下回っている。 ○活用を問われている問題ではすべての問題で正答率が高かった。 ●実験の操作や器具の使い方に関する問題で正答率が低かった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・見通しをもって実験を行い、意図を明確にして取り組めるようにする。また、結果と考察をしっかりと結び付けて考えられるよう指導する。 ・結果を表やグラフでまとめ、そこから読み取る機会を確保し、事実から考えられるようにする。 ・観察や実験、器具の使用の機会を増やし、実感を伴った理解を促せるよう指導する。
生命・地球	平均正答率は市平均を上回っている。 ○動物や植物のからだのつくりや月と太陽の内容については正答率が高かった。 ●植物の発芽と成長において、実験の条件制御や予想から結果の見通しをもつことの正答率が低い。	・調べたいことを明確にし、変える条件と変えない条件を確認したうえで実験に取り組めるようにする。 ・児童が予想を立てる時間を十分に確保し、予想から結果の見通しを立てたうえで実験を行えるよう授業展開を工夫する。 ・自分の言葉で現象や理由を説明できるよう、考察の時間を十分に取ながら指導する。